

支 援 趣 意 書

国際原子力科学オリンピック日本代表選手団出場支援委員会

令和8年3月吉日

関係各位

謹啓 貴殿におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨今、二酸化炭素の排出量の規制などの動きを受けて、原子力、放射線の有効活用が注目を集めているところでありますが、それを支えるための人材が不足している状況にあります。

これを受けて、2024年より国際原子力機関（IAEA）の支援を受けて、国際原子力科学オリンピック「International Nuclear Science Olympiad：INSO」（<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/nhrdnINSO/>）が開催されています。

この活動では、世界各国の20歳以下の学生、主に高校生が、原子力や放射線に関する知識を競いあうことで、原子力や放射線に対する正しい理解を深め、各国の原子力や放射線の平和利用を支える人材を確保し、原子力や放射線の平和利用を促進させることを目指しています。

我が国でも、原子力や放射線に関する分野の人材不足が続いていますので、INSOの活動の趣旨に賛同し、我々が中心となり、INSOへの参画に向けた準備を進めてまいりました。そして、本年（令和7年）8月にマレーシア・バンギにて開催された第2回大会から、全国から選抜された4名の高校生を選手として派遣するに至りました。

第2回大会には14ヶ国から国内予選で選抜された56名の高校生が参加しましたが、我が国から参加した4名全員は、厳しい競争を勝ち抜いて、優れた成績を残してくれました。さらにうれしいことに、参加した高校生が、INSO参加のための学習を通じて、原子力や放射線に対して強い関心を持ち、将来、我が国のこの領域に進むことを視野に入れてくれていることも分かりました。

以上のような第2回INSOの成果を鑑みて、我々は、第3回以降も継続して、我が国からINSO大会への代表選手団の派遣を継続したいと考えています。

これまで、INSOへの日本代表選手派遣の活動は、我々、支援委員会の自発的な小規模の活動として実施してきましたが、より活発に活動するには、支援体制の強化が欠かせません。

つきましては、この領域に造詣の深い皆様方の本活動へのご理解とご支援を賜りたく、ここをお願い申し上げます。

末尾になりましたが、貴殿の益々のご発展を祈念いたします。

謹白

国際原子力科学オリンピック日本代表選手団出場支援委員会
委員長 飯本 武志（東京大学環境安全本部・教授）

1 国際原子力科学オリンピックおよび日本代表選手団出場支援委員会の概要

1.1 参加大会名：International Nuclear Science Olympiad (INSO)

INSO ホームページ：<https://inso.science/>

1.2 次回会期：2026年8月上旬（予定）

1.3 開催場所：サウジアラビア（予定）

1.4 日本からの参加人数：日本代表選手4名、チームリーダー2名

1.5 大会の趣旨：

International Nuclear Science Olympiad は、アジア太平洋地域の20歳未満の学生を対象とした国際原子力科学オリンピックであり、IAEAの原子力科学技術分野の人材育成の取り組みの一環としての原子力科学教育の新たな世界的取り組みで、「原子力科学技術の平和利用に対する認識を高めること」を目的とし、ひいては原子力や放射線の領域で活躍してくれる優秀な人材の育成を目指しています。

- ① 原子力科学技術に関する知識と理解を普及させ、その利用と応用に対する原子力科学的なアプローチを開発すること。
- ② 中等学校（中学、高校）の生徒の原子力科学技術への関心を高めること。
- ③ 中等学校レベルでの原子力科学技術の教育を改善すること。
- ④ 原子力科学技術の問題に対する自主的かつ創造的な解決策によって、この分野に関心のある生徒の活動を刺激すること。
- ⑤ 国際的な連携を促進し、友好関係を促進すること。
- ⑥ 参加者に原子力科学技術に関連した職業への関心を持たせること。
- ⑦ 参加国における全国原子力科学オリンピックの創設と開催を奨励すること。

1.6 過去大会の設問テーマ：

第1回（2024年）大会

核融合、放射線利用、放射線医学、同位体存在比、核燃料、トレーサー、遮蔽

第2回（2025年）大会

核医学、宇宙利用、核分裂、環境放射能、核燃料、食品照射、放射線管理

1.7 過去の開催と日本の実績：

開催	開催国	日本選手参加状況	日本選手の結果
第1回 (2024年)	フィリピン	不参加	—
第2回 (2025年)	マレーシア	4名	金メダル 1個 銀メダル 2個 銅メダル 1個 最優秀女性選手賞 実験試験最高得点

1.8 日本選手出場支援に関する窓口：

国際原子力科学オリンピック日本代表選手団出場支援委員会

(INSO-Japan 委員会)

副事務局長 藤島かおり inso@ml.jaea.go.jp

2 予算案

2.1 収入の部

科目	金額 (円)	内訳
広告収入	1,000,000	5万円×20社
壮行会、報告会 参加費	100,000	2千円×25名×2回
寄付金 (個人)	50,000	
寄付金 (企業)	2,000,000	
合計	3,150,000	

2.2 支出の部

科目	金額 (円)	内訳
INSO 参加登録費	600,000	4千米ドル (レート 150円)
壮行会、報告会 弁当、お茶	90,000	
会場費	200,000	壮行会、報告会
ユニフォーム	60,000	開会式、閉会式着用 (選手4名、リーダー2名分)
代表選手旅費		
国内交通費	200,000	5万円×4名
航空運賃、保険料	2,000,000	25万円×往復×4名
合計	3,150,000	

3 寄付募集要項

3.1 寄付金の目的と主な用途：

第3回国際原子力科学オリンピックへの日本代表選手出場のための参加費用、
国内外旅費

3.2 寄付金の名称：国際原子力科学オリンピック日本代表選手応援資金

3.3 寄付の目標額：205万円

3.4 募集期間：2025年11月11日から2026年7月31日まで

3.5 寄付のご入金：

個人：5,000円／一口

企業・団体等：50,000円／一口

<支援金申込サイト>

https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/nhrdnINSO/supporters_recruitment.php

<申込フォーム>

<https://forms.gle/zM4Xvc5mkpWQv29t5>



<振込口座>

銀行名：りそな銀行（東京営業部） 店番：300 口座番号：0985181

口座名：一般財団法人日本原子力文化財団

3.6 税法上の措置：免税措置なし

3.7 その他：

ご寄付いただきました個人、企業・団体は、ご希望に応じて氏名もしくは名称を
公式ポータルサイトやユニフォーム（内側）に掲載いたします。

3.8 問い合わせ先：

国際原子力科学オリンピック日本代表選手団 出場支援委員会事務局
（原子力人材育成ネットワーク 高等教育分科会 事務局（JAEA）内）

<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/nhrdnINSO/inquiry.php>

事務局：藤島かおり inso@ml.jaea.go.jp